



【会派 NEWS】 2019(令和元)年 6月 10日号 週刊 Vol.19
お気軽にご連絡ください 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301
TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

議員定数2減条例を議員提案

「情報公開」「自民信頼」「公明」3会派共同

小金井市議会の議員定数が、人口が同規模の東京多摩の各市(国分寺市、昭島市、東久留米市)に比べて2名も多い問題＝下表参照＝に関して、「情報公開こがねい」「自民党信頼」「公明党」の3会派は共同で、小金井市議会の議員定数を2名削減する条例案を議員提案で提出しました。条例案は、6月7日の本会議に上程されて、説明・質疑が行われ、その後、議会運営委員会に付託されました。議会運営委員会は6月12日に開催される予定です。

市名	人口	議員定数
小金井市	120,618人	24人
国分寺市	122,201人	22人
昭島市	113,251人	22人
東久留米市	116,869人	22人



6月7日の市議会本会議で議員定数2減条例を上程。左から渡辺大三(情報公開こがねい)、宮下誠(公明党)、湯沢綾子(自民党信頼)。

現在、小金井市議会の会派構成は以下の通りです。

◎自由民主党・信頼の小金井(5人)＝遠藤百合子、湯沢綾子、吹春やすたか、河野律子、五十嵐京子／◎日本共産党小金井市議団(4人)＝水上洋志、板倉真也、たゆ久貴、森戸洋子／◎小金井市議会公明党(4人)＝宮下誠、紀由紀子、渡辺ふき子、小林正樹／◎みらいのこがねい(4人)＝鈴木成夫、村山ひでき、岸田正義、沖浦あつし／◎小金井をおもしろくする会(1人)＝白井亨／◎こがねい市民会議(1人)＝斉藤康夫／◎情報公開こがねい(1人)＝渡辺大三／◎改革連合(1人)＝篠原ひろし／◎生活者ネットワーク(1人)＝田頭祐子／◎市民といっしょにカエル会(1人)＝片山薫／◎緑・つながる小金井(1人)＝坂井えつ子

小金井市議会の議員定数は24名ですが、条例案を提出した3会派の所属議員は採決に加わらない議長を除くと合計9名です。3会派以外では改革連合の篠原議員が条例案に賛成すると見られますので、

それも加えると10名です。条例案が可決されるためには、あと2名の議員の賛同が必要となります。

動向が注目されるのは、「みらいのこがねい(立憲民主党＋無所属)」「小金井をおもしろくする会」「こがねい市民会議」の3会派6議員です。反対する可能性もあれば賛成する可能性もあると思われます。

今回の条例案は、「他市以上」に定数を削減する内容ではなく、「他市並み」にまで定数を削減し、そのことで生み出した財源で市民サービスの財源を確保することを主眼にしたものです。条例案が可決されれば、次の4年間の任期を通算して約9000万円の財源を生み出すことができると試算されます。

また、現在、小金井市は新庁舎の基本設計に向けた作業を進めていますが、議会スペースの面積は、「議員定数24×議員一人あたり面積35㎡＝840㎡」というような計算式で算出されます。つまり議員定数が多すぎるということは、単に議員報酬にとどまらず、庁舎建設のコスト増にもつながるわけです。二

重三重のムダ遣いを見過ごすわけにはいきません。

小金井市は JR 中央線の沿線市なので、まだ人口は微増していますが、今後は人口減少に転じていくことが確実視されています。現在でもかなり厳しい財政ですが、さらに厳しさを増していくものと想定されます。議員定数を「聖域」化して経費節減努力を怠ることは許されません。いずれ訪れる事態に今から備えて市民生活を守る「市民生活第一主義」で物事を考えていくべきではないでしょうか。「自分の選挙事情第一主義」で物事を考えてはいけません。

私が市政における立場の違いを超えて「自民党信頼」「公明党」と3会派共同で議員定数 2 減条例案を提案したのは、現行の「多すぎる議員定数」は、市民の理解を得られるものではないと考えたからです。

義務教育就学児(小 1・2・3)の医療費助成 所得制限撤廃を実現

「情報公開こがねい」「共産党」「公明党」の 3 会派共同で条例案を提案して実現させた「義務教育就学児(小 1・2・3)の医療費助成の所得制限撤廃」。10 月 1 日から撤廃になりますので、市が市民の皆様へチラシの配布を始めました。

東京 23 区では撤廃は「当たり前」ですが、多摩地区は大きく遅れていました。今回、まずは「小1・2・3」ですが、実現できて良かったです。

今後子育て環境の充実に向けて、保護者負担の軽減に力を入れていきたいと思えます。

小金井市
義務教育就学児医療費助成制度

小学1年生・2年生・3年生
所得制限がなくなります!

令和元年10月1日スタート

新たに子医療証の使用を開始するには申請が必要です
現在、子医療証をお持ちの方は申請不要です

義務教育就学児医療費助成ってナニ?!

- 病气やけがで健康保険が適用される医療行為や薬剤提供を市内在住の小中学生が受けた場合に自己負担すべき額から進院一回あたり2000円を控除した額を市が助成するもの
- 健康保険に未加入であったり他の公的医療保障(国・県・生活保護・施設入所等)を受けている児童は対象外
- 小学4年生～中学3年生は所得制限あり

	保護者の所得制限		助成内容
	～令和元年9月	令和元年10月～	
小学1年生～小学3年生	あり	なし	【通院】健康保険適用診療の自己負担額から上限2000円を控除した額 【入院】食事療養費自己負担額を除く健康保険適用診療の自己負担額 【調剤・訪問介護】健康保険適用診療の自己負担額
小学4年生～中学3年生	あり	あり	

〈問合せ先〉
小金井市子ども家庭部子育て支援課手当助成係 電話 042-387-9839

私も実行委員の一人になっているイベントです
(政治イベントではなく文化イベントです)
お気軽に参加してみませんか?

第1回 令酒会(地酒を楽しむ会)

参加者がおすすめの地酒を持ち寄り、みんなで飲み比べを楽しもうという会です。料理は主催者で用意します。日本酒は日本の大事な文化です。次の世代に継承していきたいものです。

◇日時:7月21日(日)18:30～21:30

◇会場:萌え木ホール(商工会館3F)

◇会費:各自720mlの日本酒(純米酒 OR 純米吟醸 OR 純米大吟醸)1本持参。他に食事代+会場費2000円。

◇主催:令酒会実行委員会

◇参加申込=前日までに表面記載のメールかFAXにお申し込みください。

脱ムダで市政を変える!

渡辺大三 プロフィール

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993年、小金井市議選に男性最年少26歳で初当選。以降7期連続当選(直近4期は無所属で立候補)。「脱ムダ改革」を掲げ、高額人件費問題など小金井市政のムダ遣いや不正、癒着、天下りを厳しくチェック。

現在=小金井の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会(代表=上田令子都議会議員)」幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学員会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。

日々の市議会報告、活動報告、雑感
Twitter、facebook に掲載しております。「渡辺大三 HP」からアクセスできます。ぜひお読みください。

<http://www.daizou.org/>

NEWS 発行カンパのお願い

みずほ銀行 小金井支店 普通 1414875

口座名 情報公開こがねい

(お振込み後、お名前とご住所をお知らせください。領収証をお送りします/外国籍の方はカンパができませんのでご注意ください)